

発 言 通 告 書

発言者氏名	小林 伸行
発言の会議	平成23年 9月 1日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 「施設白書」の必要性について

(1) 「施設白書」の検討状況と必要性に対する考え方について

ア 平成21年3月の「包括外部監査の結果報告書」でも、今後、全施設の更新は不可能なので、統廃合や複合化などさまざまな手を打つために、市全体の施設の実態を明らかにするよう、指摘がされている。こうした中長期的な施設経営の基礎資料となるものが「施設白書」であり、藤沢市や秦野市など「施設白書」を作成する自治体はふえているが、横須賀市は「検討を進める」「本格的に研究を行う」と答弁したにもかかわらず、いまだに作成できていない。この間、いったい何を検討・研究していたのか。

イ 「施設白書」作成に向けた市長の考えを伺う。

2 現在の予算の優先順位について

(1) 平成23年度予算への市長の優先順位の反映度について

ア 現在の予算は市長と議会による優先順位が反映されたものと言えるが、どうしても市の事業数は多く、過去から継続

している事業などもあることから、必ずしも現在の予算に優先順位の考え方を反映できていない部分もあると推測する。現在の平成 23 年度予算は、市長の優先順位を何パーセント程度反映できているか。

(2) 市長の優先順位の考え方について

ア 急激な人口減少が進む横須賀市では、特に若年層の減少が顕著である。こうした中、子育て支援や教育への投資は、人口減少を緩和するための優先順位の高い将来投資だと考えるが、市長の考えを伺いたい。

(3) 私の優先順位の考え方に対する市長の見解について

ア 中学校の完全給食は、優先順位の高い施策だと考える。仮に横須賀市で完全給食を実施するとなれば、学校保健課が相模原市の事例をもとにボックスランチ方式の給食を導入した場合の試算では、初期費用が約 2 億 5 千万円、運営経費が毎年約 4 億 5 千万円となる。私は「中学校給食よりも優先順位の低い事業等があれば、それを削って導入すべき」と考えるが、市長の見解を伺いたい。

(4) 「中央斎場の市民無料火葬事業」の廃止について

ア 現在、横須賀市は市民に無料で火葬サービスを提供しており、近隣自治体と比べてみても、その安さは際立っている。しかし、火葬 1 件あたり少なくとも 43,587 円かかっている計算となる。そこで、横須賀市民については運営管理費と人件費をペイできる 45,000 円、市外の方は藤沢市と同様の 80,000 円程度を負担していただくのが適当と考えるが、市長のお考えを伺いたい。

(5) 「横須賀芸術劇場の芸術普及事業」の廃止について

ア 平成 22 年度の収支計算書を見ると、指定管理料という名目の赤字補填を横須賀市から 4 億 2004 万円支払っているが、この事業は 4 億円以上投じるほど優先順位は高くないと考える。予算と事業効果との相関関係を考えれば、相関度合いが高い事業に傾斜配分したほうが有効だと考えるが、市長の考えを伺いたい。

イ 吉田市長は平成 22 年第 1 回定例会で、芸術劇場の指定管理者を指名から公募に変更することによって、指定管理料を年間約 3,600 万円削減というあらあらの試算を示した。私はまさか、芸術劇場のあり方を追及してきた吉田市長が、この程度の削減幅で満足しているとは思わないが、市長の満足度を伺いたい。

ウ 平成 26 年度以降の指定管理者選定に当たっては、芸術普及事業を廃止し、貸館事業・駐車場事業・サービス事業に特化した「運営管理仕様書」にして公募をかけてはどうかと考える。貸館事業・駐車場事業が主体であれば、ビルメンテナンス会社など多くの民間会社も参入しやすくなり、指定管理料もかなり削減できると考える。仮に、平成 22 年度の収支計算書から芸術普及事業関連費用を取り出してみると、計 1 億 5,460 万円が削減できると考えている。このような「運営管理仕様書」の見直しをした場合の、市長側の試算額と、見直しの是非について伺いたい。

エ 平成 26 年度以降については、指定管理者とは別法人の芸術普及事業担当の NPO を立ち上げ、そこに「寄付を 1 億円獲得したら報酬は 1 千万円」といったぐあいの、成果報酬制や歩合制のファンドレイザーを雇い入れてはどうかと考える。その獲得資金に応じ、身の丈に合った範囲で芸術普及事業を推進する仕組みとすれば、赤字が出ることもない。この私の企画提案に対して、市長の見解を伺いたい。

(6) 私が挙げた「中学校給食よりも優先順位の低い事業等」に対する市長の考え方について

ア いま挙げた事業等を見直して、中学校給食を導入したほうが、横須賀市民と横須賀市にとっての損得を考えると便益が大きいと考えるが、市長の考えを伺いたい。

イ もし私が挙げた事業よりも優先順位の低い事業があれば、教えていただきたい。